

### 三島由紀夫のこの言葉

## 命より大切なもの、自由でも民主主義でもない。愛する歴史と伝統の国、日本だ。

没後三十九周年三島由紀夫氏追悼会「憂国忌」が25日、永田町の星陵会館にほぼ満員の参加者を集めて開催されました。この憂国忌は事件のあった翌年、林房雄氏の「三島由紀夫の精神を想起し拡大しよう」との呼びかけで始まったもので、毎年命日の11月25日に開催され、今年で39回目になります(主催は三島由紀夫研究会・憂国忌実行委員会)。



皆さん、最後まで熱心にパネラーの主張に耳を傾けていました。  
次回40回目は九段会館で開催されます。

開会前の会場には、生前に三島由紀夫が好んだというワーグナーの楽劇「トリスタンとイゾルデ」の著名な「前奏曲」と「愛の死」が流されていました。この楽曲はワルキューレやタンホイザーなどワーグナーらしい勇ましい曲が多い中で、もっとも「精神性の高い曲」として知られており、氏の人柄を偲ばせる主催者の選曲だったと思います。

会は最初に三島由紀夫・森田必勝両氏を追悼して一分間の黙祷を全員で捧げました。続いて開会の挨拶を三島文学記念館館長松本徹氏が行い、21日に開催した開館10周年記念フォーラムはドナルド・キーン氏と横尾忠則氏が講演し、満員の盛況だったと報告がありました。

シンポジウムは「現代に蘇る三島思想」と題して、パネラーに富岡幸一郎氏(文藝評論家、司会)、西部邁氏(評論家、『表現者』顧問)、西村幸祐氏(評論家、『撃論ムック』編集長)、杉原志啓氏(評論家、徳富蘇峰研究家)の四氏が登壇、それぞれの立場から三島由紀夫についての活発な意見が表明されました。



活発な意見を述べたパネラーの皆さん。左から富岡幸一郎氏、[西部邁氏](#)、西村幸祐氏、杉原志啓氏。

会場にはチャンネル桜のカメラが入っていたのでシンポジウムの詳しい内容は数日後に放送されるであろう番組をご覧ください。会場で配布された資料には「檄文」が掲載されていたので、以下に収録しました。個人的には「今こそわれわれは生命尊重以上の価値の所在を諸君の目に見せてやる。それは自由でも民主主義でもない。日本だ。われわれの愛する歴史と伝統の国、日本だ。」という部分、何回見ても重い言葉だと実感しています。

39年前に[三島由紀夫](#)が命を賭して訴えた「日本の危機」。民主党政権の実現と早速始まった国体破壊に通じる数々の反日法案の具体化でいよいよ、目の前の「いまそこにある危機」となりました。一人でも多くの日本国民が覚醒するよう、死にものぐるいで「日本を護る」ために行動を起こさねばならない、と改めて思います。

## 檄文



楯の会隊長 [三島由紀夫](#)

われわれ楯の会は、自衛隊によつて育てられ、いわば自衛隊はわれわれの父でもあり、兄でもある。その恩義に報いるに、このやうな忘恩的行為に出たのは何故であるか。かへりみれば、私は四年、学生は三年、隊内で準自衛官としての待遇を受け、一片の打算もない教育を受け又われわれも心から自衛隊を愛し、もはや隊の柵外の日本にはない「真の日本」をここに夢み、ここでこそ終戦後つひに知らなかつた男の涙を知つた。

ここで流した我々の汗は純一であり、憂国の精神を相共にする同志として共に富士の原野を馳駆した。このことには一点の疑ひもない。われわれにとつて自衛隊は故郷であり、生ぬるい現代日本で凜烈の気を呼吸できる唯一の場所であつた。教官、助教諸氏から受けた愛情は測り知れない。しかもなほ、敢てこの拳に出たのは何故であるか。たとえ強弁と云はれようとも、自衛隊を愛するが故であると私は断言する。

われわれは戦後の日本が経済的繁栄にうつつを抜かし、国の大本を忘れ、国民精神を失ひ、本を正さずにして末に走り、その場しのぎと偽善に陥り、自ら魂の空白状態へ落ち込んでゆくのを見た。

政治は矛盾の糊塗、自己の保身、権力慾、偽善にのみ捧げられ、国家百年の大計は外国に委ね、敗戦の汚辱は払拭されずにとだごまかされ、日本人自ら日本の歴史と伝統を流してゆくのを、齒噛みをしながら見てみなければならなかつた。

われわれは今や自衛隊にのみ、真の日本、真の日本人、真の武士の魂が残されてゐるのを見た。しかも法理論的には、自衛隊は違憲であることは明白であり、国の根本問題である防衛が、御都合主義の法的解釈によつてごまかされ、軍の名前を用ひない軍として、日本人の魂の腐敗、道義の頹廢の根本原因をなして来てゐるのを見た。

もつとも名誉を重んずべき軍が、もつとも悪質な欺瞞の下に放置されて来たのである。自衛隊は敗戦後の国家の不名誉な十字架を負いつづけて来た。自衛隊は国軍たりえず、建軍の本義を与へられず、警察の物理的に巨大なものとしての地位しか与へられず、その忠誠の対象も明確にされなかつた。

われわれは戦後のあまりに永い日本の眠りに憤つた。自衛隊が目ざめる時こそ、日本が目ざめる時だと信じた。自衛隊が自ら目ざめることはなしに、この眠れる日本が目ざめることはないのを信じた。[憲法](#)改正によつて、自衛隊が建軍の本義に立ち、真

の国軍となる日のために、国民として微力の限りを尽くすこと以上に大いなる責務はない、と信じた。

四年前、私はひとり志を抱いて自衛隊に入り、その翌年には楯の会を結成した。楯の会の根本理念は、ひとへに自衛隊が目ざめる時、自衛隊を国軍、名誉ある国軍とするために、命を捨てようといふ決心にあつた。憲法改正がもはや議会制度下ではむずかしければ、治安出動こそその唯一の好機であり、われわれは治安出動の前衛となつて命を捨て、国軍の礎石たらんとした。国体を守るのは軍隊であり、政体を守るのは警察である。

政体を警察力を以て守りきれない段階に来て、はじめて軍隊の出動によつて国体が明らかになり、軍は建軍の本義を回復するであらう。日本の軍隊の建軍の本義とは、「天皇を中心とする日本の歴史・文化・伝統を守る」ことにしか存在しないのである。国のねぢ曲がつた大本を正すといふ使命のため、われわれは小數乍ら訓練を受け、挺身しようとしてみたのである。

しかるに昨昭和四十四年十月二十一日に何が起こつたか。総理訪米前の大詰といふべきこのデモは圧倒的な警察力の下に不発に終わった。その状況を新宿で見て、私は「これで憲法は変わらない」と痛恨した。

その日に何が起こつたか。政府は極左勢力の限界を見極め、戒厳令にも等しい警察の規制に対する一般民衆の反応を見極め、敢えて「憲法改正」といふ火中の栗を拾はずとも、事態を收拾しうる自信を得たのである。治安出動は不要になつた。政府は政体維持のためには、何ら憲法と抵触しない警察力だけで乗り切る自身を得、国の根本問題に対して頼つかぶりをつづける自信を得た。

これで、左派勢力には憲法護持の飴玉をしゃぶらせつづけ、名を捨てて実をとる方策を固め、自ら護憲を標榜することの利点を得たのである。名を捨てて、実をとる！政治家にとってはそれでよからう。しかし自衛隊にとっては、致命傷であることに、政治家は気づかない筈はない。そこでふたたび、前にもまさる偽善と隠蔽、うれしがらせとごまかしがはじまつた。

銘記せよ！

実はこの昭和四十四年十月二十一日といふ日は、自衛隊にとつて悲劇の日だつた。創立以来二十年に亘つて、憲法改正を待ちこがれてきた自衛隊にとつて、決定的にその希望が裏切られ、憲法改正は政治的プログラムから除外され、相共に議會主義政黨を主張する自民党と共産党が、非議會主義的方法の可能性を晴れ晴れと払拭した日だつた。論理的に正に、その日を堺にして、それまで憲法の私生児であつた自衛隊は、「護憲の軍隊」として認知されたのである。

これ以上のパラドックスがあらうか。

われわれはこの日以後の自衛隊に一刻一刻注視した。われわれが夢みてみたやうに、もし自衛隊に武士の魂が残つてゐるならば、どうしてこの事態を黙視しえよう。自らを否定するものを守るとは、なんたる論理的矛盾であらう。男であれば男の矜りがどうしてこれを容認しえよう。我慢に我慢を重ねても、守るべき最後の一线をこえれば、決然立ち上るのが男であり武士である。われわれはひたすら耳をすました。

しかし自衛隊のどこからも、「自らを否定する憲法を守れ」といふ屈辱的な命令に対する、男子の声はきこえては来なかつた。かくなる上は、自らの力を自覚して、国の論理の歪みを正すほかに道はないことがわかつてゐるのに、自衛隊は声を奪はれたカナリヤのやうに黙つたままだつた。われわれは悲しみ、怒り、つひには憤激した。諸官は任務を与へられなければ何もできぬといふ。しかし諸官に与へられる任務は、悲しいかな、最終的には日本から来ないのだ。シヴィリアン・コントロールは民主的軍隊の本姿である、といふ。

しかし英米のシヴィリアン・コントロールは、軍政に関する財政上のコントロールである。日本のやうに人事権まで奪はれて去勢され、変節常なき政治家に操られ、党利党略に利用されることではない。この上、政治家のうれしがらせにのり、より深い自己欺瞞と自己冒瀆の道を歩まうとする自衛隊は魂が腐つたのか。武士の魂はどこへ行つたのだ。

魂の死んだ巨大な武器庫になつて、どこへ行かうとするのか。繊維交渉に当つては自民党を売国奴呼ばはりした繊維業者もあつたのに、国家百年の大計にかかはる核停条約は、あたかもかつての五・五・三の不平等条約の再現であることが明らかであるにもかかわらず、抗議して腹を切るジェネラル一人、自衛隊からは出なかつた。

沖縄返還とは何か？ 本土の防衛責任とは何か？

アメリカは真の日本の自主的軍隊が日本の国土を守ることを喜ばないのは自明である。あと二年のうちに自主性を回復せねば、左派のいふ如く、自衛隊は永遠にアメリカの傭兵として終わるであらう。

われわれは四年待つた。最後の一年は熱烈に待つた。もう待てぬ。自ら冒瀆する者を待つわけには行かぬ。

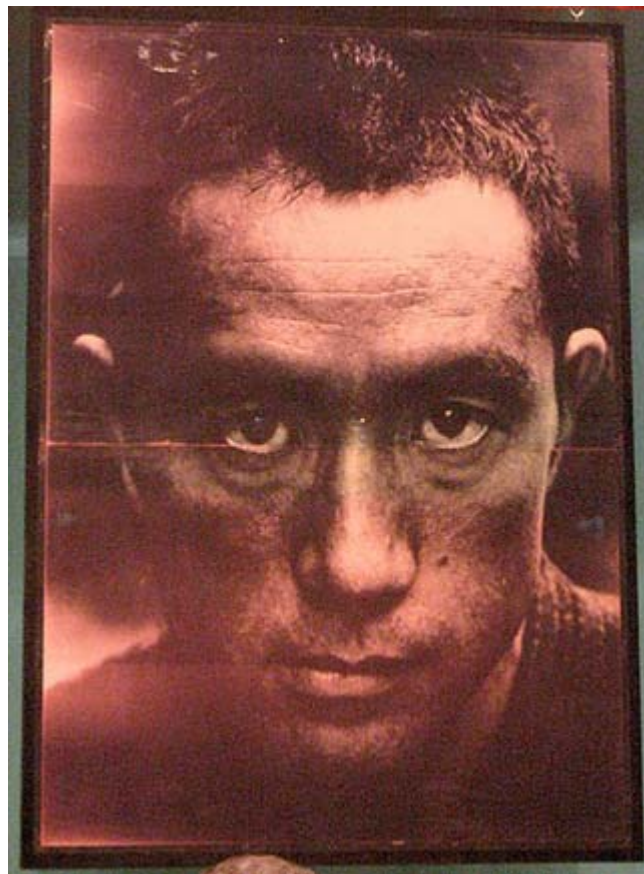
しかしあと三十分、最後の三十分待たう。

共に起つて義のために共に死ぬのだ。

日本を日本の真姿に戻して、そこで死ぬのだ。生命尊重のみで、魂は死んでもよいのか。生命以上の価値なくして何の軍隊だ。今こそわれわれは生命尊重以上の価値の所在を諸君の目に見せてやる。それは自由でも民主主義でもない。日本だ。われわれの愛する歴史と伝統の国、日本だ。これを骨抜きにしまつた憲法に体をぶつけて死ぬ奴はゐないのか。



もしみれば、今からでも共に起ち、共に死なう。われわれは至純の魂を持つ諸君が、一個の男子、真の武士として蘇へることを熱望するあまり、この拳に出たのである。



◎【高森アイズ】三島由紀夫の天皇論[桜H21/11/25]

- 【経済討論！】民主党政権と経済問題 1/4 2/4 3/4 4/4
- 渡辺昇一の大道無門 日本人が知ってはならない歴史 1 2 3 4 5 6

## これが正しい歴史、日本が好きな日本人は必見！

- ニコ動画版 凧として愛 ニコ1/3 2/3 3/3
- you tube版 凧として愛 1 2 3 4 5 6 7
- 誇り～伝えよう日本のあゆみ～ 1/3 2/3 3/3
- 日本の童謡をいつまでも ふるさと—JAPAN
- 日本がアジアに残した功績
- 真実はどこに…

カテゴリ: 政治も フォルダ: 指定なし   

コメント(32)

タグ: 三島由紀夫 森田必勝 憂国忌 林房雄 松本徹 富岡幸一郎 西部邁 西村幸祐 杉原志啓 檄文

コメント(32)

コメントを書く場合はログインしてください。



Commented by **花うさぎさん**  
・ニュース

2009/11/26 11:44

国人参政権など反対の請願提出 自民・中山成彬氏ら

自民党の中山成彬元文部科学相(前衆院議員)、義家弘介参院議員ら有志グループが25日、永住外国人の地方参政権付与や選択の夫婦別姓など民主党政権内で法案提出の動きがある諸政策に反対する請願書9万8635通を鳩山由紀夫首相にあて提出した。外国人参政権に1万1666人、靖国神社代替施設に9089人、人権救済機関設置法案に8

362人、夫婦別姓に8315人が署名した。

2009/11/26 13:16

中山氏は同日、[内閣府](#)への申し入れで「日本の平和と安全を脅かし、よき伝統文化を破壊して日本解体につながる法案には絶対に反対だ」と述べた。

<http://sankei.jp.msn.com/politics/situation/091125/stt0911252204013-n1.htm>

・約10万、良く集まりました。この意味は重いです。



Commented by [しばりようさん](#)

花うさぎ様 こんにちは。

わすれもしない反左翼学生であった時の [三島由紀夫氏の死](#)は衝撃でした。号泣したのを今でも覚えています。

あの頃は、左翼っぽい学生ばかりで、変わった奴といいふうに見られていました。しかし、三島氏の檄文を読むにつれ、やっと、三島氏の思いを理解できるような、気がします。

今たたないでいつ起つですね。

[三島由紀夫](#) [中川昭一](#) 憂国の士の 死を無駄にしてはいけませんね。



Commented by [花うさぎさん](#)

To [しばりようさん](#) こんにちは。

2009/11/26 14:20

>あの頃は、左翼っぽい学生ばかりで、変わった奴といいふうに見られていました。

私は体育会で左翼と対峙していた側でしたから、本当に驚きました。

>三島氏の檄文を読むにつれ、やっと、三島氏の思いを理解できるような、気がします。

私もやっとここに来て彼の思いが共有できるようになったと感じています。

>[三島由紀夫](#) [中川昭一](#) 憂国の士の 死を無駄にしてはいけませんね。

パネラーの話の中にも吉田松陰とか特攻との共通点を指摘する声がありましたが、[中川昭一](#)氏も含めて彼らの死を無駄にしては絶対にいけませんね。



Commented by [tenki0527さん](#)

花うさぎさま:始めまして。昨晩は、仕事で「追悼集会」に出席できなかったもので、早速写真等アップしていただき、ありがとうございます。

今、私のデスクには、「憂国忌第39回追悼集会」パンフの裏面にある、三島先生、森田烈士の写真が飾られています。

学生の頃から、これまで5回、出席しておりますが、来年の40周年には、必ず参列いたしたく思います。

ちなみに、いつも会場で流される曲は、「楽劇トリスタンとイゾルデ」の「前奏曲」と「愛の死」ですね。偶に、ドビッシーの「聖セバスチヤンの殉教」が流された事もありました。

「事件」当時、小学6年生でしたが、翌日の新聞で読んだ事、これが私の人生を変えたと言っても良いでしょう。

いろいろなものや人に心引かれながら、結局は三島先生に結びついてしまう。答えは三島先生の言葉にある。最近「憂国」のDVDも発売され、輸入ではありますが、「MISHIMA」も入手出来るようになりました。

三島先生の志は、我々が必ず継いで行かなければならないですね。

失礼致しました。

2009/11/26 15:02



Commented by [第一義@運国斎さん](#)

花うさぎ様 こんにちは。

2009/11/26 15:53

憂国忌リポートありがとうございます。

とても金銭的余裕がなく行くことはできなかったのが大助かりです。

>何回も云いますが、政治や経済、外交の仕組みや現状を知らないど素人の集団ですから、左のイデオロギーを当てはめようとすると、すべてマイナスの力学が働くのです。それ

が判らないのですね。

そこまで花うさぎ様が緻密に分析できることがあの馬鹿内閣には一向に分析もできず、全く判らないでしょうね。

それこそ、透明な国から中韓の国になってしまうという国の一大事、危機にある今、我々も三島の如く救国に立ち上がらなければならないと思います。



Commented by **usaginomimi** さん

2009/11/26 16:37

こんにちは。

ちょっとお伺いなのですが、外国人住民基本法のまとめサイト、

<http://www35.atwiki.jp/kolia/pages/983.html>

の最後の方に、この法案を提出した衆議院のページに飛べるようになっているはずなのですが、飛んだ先に何もありません。この法案の扱いがいま、どんな風になっているか、もしご存じでしたらお教えていただければ・・と思ったのですが。

ご面倒でしたらけっこうですが、気になったので・・申し訳ありません。



Commented by **花うさぎ** さん

2009/11/26 16:45

To tenki0527さん はじめまして、こんにちは。

>学生の頃から、これまで5回、出席しておりますが、来年の40周年には、必ず参列いたしたく思います。

そうですか。今回は会場の都合で二人の遺影と祭壇が別々に設置されて少し可愛そうでした。

>ちなみに、いつも会場で流される曲は、「楽劇トリスタンとイゾルデ」の「前奏曲」と「愛の死」ですね。

情報ありがとうございます。CDを沢山持っているので確認すれば良かったのですが、年ですね(^\_^)。

>三島先生の志は、我々が必ず継いで行かなければならないですね。

正直、いまこそ三島氏のようなカリスマがリーダーとなって愛国者を引っ張ってまとめて欲しいと思うことがあります。頑張りましょう。



Commented by **花うさぎ** さん

2009/11/26 16:48

To yuukokushaさん こんにちは。

>憂国忌レポートありがとうございます。

どういたしまして。檄文を一度は掲載したかったのでパネラーの発言を入れられませんでした。一時は西部氏の独演会みたいな様相でしたよ。

>それこそ、透明な国から中韓の国になってしまうという国の一大事、危機にある今、我々も三島の如く救国に立ち上がらなければならないと思います。

はい、その通りだと思います。もう時間は残されていません。



Commented by **花うさぎ** さん

2009/11/26 17:08

To usaginomimiさん こんにちは。

>衆議院のページに飛べるようになっているはずなのですが、飛んだ先に何もありません。。

この外国人住民基本法の話は最初はどこかが情報提供してくれたか判りませんが、今年の春の通常国会(171)の法務委員会に出されていた、ということですね。

衆議院では阿部知子、参議院では円より子が提出者になっていて、それは今でももちろん見られます。衆議院はここです。

[http://www.shugiin.go.jp/index.nsf/html/index\\_seigan.htm](http://www.shugiin.go.jp/index.nsf/html/index_seigan.htm)

2009/11/26 20:27

と思ったら今検索すると、[参議院](#)の過去の請願が見られませんね？。探し方が悪いのか、ひよとしたら？かもです。

いずれにしても法案は提出されていないはず。今の[臨時国会](#)には衆参ともに請願も行われていませんね。



Commented by [しばりょうさん](#)

2009/11/26 21:47

[三島由紀夫](#)氏の檄文は、今 日本亡国の危機に 直面しても、立たない [民主党](#) 保守派の人々に対する 檄文のように 思えました。



Commented by [花うさぎさん](#)

2009/11/26 21:47

To [しばりょうさん](#)

> [三島由紀夫](#)氏の檄文は、今 日本亡国の危機に 直面しても、立たない [民主党](#) 保守派の人々に対する 檄文のように 思えました。

その側面は確かにあると思いますが、政治家・一般国民に限らず、すべての日本国民に呼びかけている、と受け止めるべきでしょう。いまとなつては。



Commented by [花うさぎさん](#)

・オピニオン 岩見隆夫のコラム

サンデー時評:「ヒトラー呼ばわり」をめぐって

前任者の[麻生太郎](#)さんにくらべると、[鳩山由紀夫](#)首相は失言、放言がほとんどない。麻生さんが多すぎたからでもあるが、鳩山さんは国会答弁などを割合器用にこなしている。

戦後の歴代首相のなかで、国会論議の想定問答を事前に用意する官僚たちが、「任せていても安心だ」と答弁能力を買っていたのは、岸信介、[福田康夫](#)、[宮沢喜一](#)の三人だった。三人とも、上手というよりはソツがない。高級官僚出身で頭脳明晰、言葉じりをつかまえられることがなかった。

その点、鳩山さんもソツのなさはあるが、最近は発言にぶれがみられる。失言とまでは言えないにしても、気になる言い回しが時折ある。そのひとつ、衆院[本会議](#)の論戦で、[自民党](#)の[谷垣禎一](#)総裁が財政再建問題をただしたのに対し、「あなた方に言われたくない」と反駁したのは、不評だった。

このあとの衆院[予算委員会](#)で[自民党](#)の[加藤紘一元幹事長](#)が、「首相があんなことを言うてはいけない。野党ボケだ」としなめると、鳩山さんは、「つい反射的に出た。谷垣さんに不信感を与えたのは遺憾だ」と答えた。謝るのも早い。

<http://mainichi.jp/select/seiji/iwami/news/20091125org00m010021000c.html>

・この人、確か小沢の時は骨っぽいと思っていたけど、大丈夫ですかね？



Commented by [花うさぎさん](#)

2009/11/26 22:04

To [しばりょうさん](#)

> [三島由紀夫](#)氏の檄文は、今 日本亡国の危機に 直面しても、立たない [民主党](#) 保守派の人々に対する 檄文のように 思えました。

思い出しましたが、土屋たかゆき議員は事務所にこの「檄文」を印刷したものを大きくして壁に貼ってある、と以前に聞きました。

「政治家として撃たれて死ぬのは本望」と云っていた事もあり、覚悟が見える人ですね。



Commented by [しばりょうさん](#)

2009/11/26 22:10

To [花うさぎさん](#)

保守派の人々に対する 檄文のように 思えました。

&gt;

2009/11/26 22:17

>その側面は確かにあると思いますが、政治家・一般国民に限らず、すべての日本国民に呼びかけている、と受け止めるべきでしょう。いまとなつては。

こんばんわ。そのとおりですね。

とりあえず

三島氏と 正反対に写る 鳩山を 日本のトップから 引きずり下ろさないといけないと思います。

円高も、米中の策略のように、思います。

友愛間と言うだけの ようゆうあい無策政権では、日本がもちません。



Commented by **花うさぎ** さん

To [しばりょう](#)さん

>三島氏と 正反対に写る 鳩山を 日本のトップから 引きずり下ろさないといけないと思います。

はい。全くその通り。

「正直、国というものが良く判らない」などと発言する人間が日本国内閣総理大臣であつて良いはずがありません。



Commented by **花うさぎ** さん

・ニュース2 NHK「坂の上の雲」に学識者ら要望

2009/11/26 22:46

学識者らでつくる「坂の上の雲」放送を考える全国ネットワークは26日、NHKで29日から放送されるドラマ「坂の上の雲」に関して、司馬遼太郎氏の原作小説には「重大な歴史認識の誤り」があるとして、視聴者に事実との違いを伝える措置を講じるよう要望した。

同ネットワークは、最近の研究では「当時、[ロシア](#)が日本を侵略しようとしていたことを示す歴史的事実は無い」とし、日露戦争は「祖国防衛戦争」だったとの司馬氏の認識は誤りだと指摘。著作権に配慮した上で訂正や補足を行うか、ドラマ放送期間中に日清・日露戦争の経緯の検証番組を放送することなどを求めた。(2009/11/26-18:45)

[http://www.jiji.com/jc/c?g=soc\\_30&rel=j7&k=2009112600874](http://www.jiji.com/jc/c?g=soc_30&rel=j7&k=2009112600874)

・はいはい。左翼のいちゃもんをいちいちニュースで流すな、と言いたい。



Commented by **usaginomimi** さん

2009/11/26 23:44

花うさぎさま、お忙しい中、ご丁寧なお返事をありがとうございました。

あのページは、最近作られたものだと思っていたので・・

なぜ、リンク切れのページにつながっているのかしら??と思ったのです。

別の方面から資料を見つけました。(↓)

<http://www.sangiin.go.jp/japanese/joho1/kousei/seigan/171/futaku/fu17100650948.htm>

<http://www.sangiin.go.jp/japanese/joho1/kousei/seigan/171/yousi/yo1710948.htm>

こちらで見られました。お手数掛けてすみません。



Commented by **usaginomimi** さん

2009/11/26 23:45

連投すみません。

>[三島由紀夫](#)のこの言葉

命より大切なもの、自由でも民主主義でもない。愛する歴史と伝統の国、日本だ。

↑何か、故中川氏を思い出しました。

私はこの国では、この国を愛していると公言することが罪のように言われる理由が理解できません。他国に少しだけですが仕事で行った経験があるので「自分の国を大切にすること」の、日本国民と他国民との差が、怖いほどだと思います。

この呪いを解くにはどうしたらいいのか・・。

先日の、天皇陛下へささげた[EXILE](#)の歌を全部聞かれましたか。

あれは、見えない呪いに霞を掛けられた目を開かせる、大きなチャンスだったのに、全テ



レビ局が、一番肝心な歌詞のところを聴かせないよう、放送を打ち切りました。  
「この国に生まれてよかった。」あの部分だけは、すべての国民が聴くべきでした。あの打ち切りはどうみても、不自然すぎました。何か大きな力が働いたとしか思えません。現場の電光板も一番クライマックスの歌とお言葉のときだけ壊れたと聞いたのですが、それは本当のことなのか…。

2009/11/27 00:34

私は少なくとも、

あの歌と、陛下のお言葉の直前に、生放送を中断したNHKは、国民に受信料を要求する権利はないと思います。

民主党がいかに反日的政策をしているといえど、彼らはそういった(=旧社会民主党系)集団、ということで、ある意味自分たちの信念に従って動いていると言え、それは思想の自由が保障されている日本では止めることはむずかしいと思います。

しかし、マスコミの裏切りは政党の存在意義とはまったく別のものであり、情報弱者の国民への、見えない暴力は、許せません。

マスコミの裏切りの前には、民主党の危険法案も可愛いものだと思えてしまいます。



Commented by **usaginomimi** さん

再三、すみません。

EXILEの打ち切られた歌詞の部分ですが、

>「この国に生まれてよかった。」

という歌詞があったわけではありませんので…紛らわしくてすみません。

「この国」と自分との繋がりを歌いつつ、陛下をたたえている歌詞そのものが、日本ではこれまで表現されないものだっただけに、テレビが放送を遮断したことが残念でなりません。

年配の、ネットをやらない世代の方にこそ、聞かせてあげたかったです。



Commented by **桜子 (sakurako) ★** さん

2009/11/27 01:29

こんにちは、桜子です。

この秋に西尾幹二先生たちと記念館に行きました。

新しい歴史教科書をつくる会東京支部の講演会後の懇親会の食事をお願いしている方のお父さんが記念館の発起人の1人だったことがその後わかりました。

何かとつながりがあるものなのですね。(o^▽^o)



Commented by **泥沼没彦** さん

2009/11/27 02:17

花うさぎさんへ

花うさぎさんは、学生運動の時代を経験されたのですね。私は、24歳の青二才です。そのため、戦後日本の言論の状況については、桶谷秀昭さんや稲垣武さんの書籍で知った程度の知識しかありません。

しかし、三島由紀夫が戦後、左翼的な風潮に抗った勇者であったことはわかります。私は、その三島の「若きサムライたちへ」と「葉隠入門」は何度も読み返しました。これらは何度読んでも感動します。

ところで、三島のような誇り高き日本人は、戦前なら当たり前になっていたことでしょう。しかし、今の日本人は、戦後の左翼的な思潮よりもひどい何事にも無関心、いわばニヒリズムに陥ってます。これこそが昨今の国家危うくしている原因ではないのかと私は思います。



Commented by **siseinotamikusa** さん

2009/11/27 02:26

花うさぎさんこんばんは…

社会主義と共産主義等の左翼は「ポルノ」と似ている。ポルノのどこが問題だと言うと、性(セックス)以外の部分、例えばその子の性格や趣味、人生観、ファッション、などがスポイルされているか欠落している。性は人間に不可欠なものであるが、そこだけ強調して売り物にすれば問題が多い。

左翼の民主党や左翼の大手テレビ新聞マスコミは「平和」「福祉」「平等」「友愛」などを強調してその他の日本の防衛、主権、科学技術、歴史などをスポイルしたり欠落したりを故意にしている事が問題である。

連日テレビ放送は無料で番組を流しているが、裏で民主党の援護しているのも腹立たしい限りです。

完全に「国家主権は絶対守るべき」の上に「表現の自由」が来ているのがオカシイです。日本人でない反日外国人が作った恣意のテレビ番組を垂れ流すのは間違っていると思うのは俺だけでしょうか？

ソトバンクのCMはオカシイでしょう。なぜ黒○と犬と日本人の家族がどこの世界にいるのでしょうか？日本人がこんなCMに怒りを持たない事に俺は悲しいのです。

俺も三島由紀夫の切腹には驚きましたが、彼が今生きていたらどんなに悲しむでしょうか。ある意味こんな現状を見ないだけ幸福かもしれません。



Commented by [花うさぎさん](#)

2009/11/27 07:42

To usaginomimiさん おはようございます。

>こちらで見られました。お手数掛けてすみません。

これはありがとうございます。逆に助かりました(--)



Commented by [花うさぎさん](#)

2009/11/27 07:54

To usaginomimiさん

>私はこの国では、この国を愛していると公言することが罪のように言われる理由が理解できません。

一般大衆への刷り込み、洗脳が完成してしまっているんですね。学生時代、宝くじ売り場で有名な[数寄屋橋](#)で愛国党の赤尾敏氏の街宣を何回も聞いていましたが、その主張は全く持って当然だ、という思いで聞いてました。

他国に少しだけですが仕事で行った経験があるので「自分の国を大切にすること」のことの、日本国民と他国民との差が、怖いほどだと思います。

>全テレビ局が、一番肝心な歌詞のところを聴かせないよう、放送を打ち切りました。

同じ場所で切っているなら明らかにある種の圧力ですね。ネットにありますか？。

>あの歌と、陛下のお言葉の直前に、生放送を中断したNHKは、国民に[受信料](#)を要求する権利はないと思います。

はい、賛成です。というか「ふざけるな！」ですね。

>マスコミの裏切りの前には、[民主党](#)の危険法案も可愛いものだと思えてしまいます。

何故こうなるかといえば、NHKも含めてテレビ報道は「日本が嫌い」な左翼・在日・創価の影響の下にあるからですね。いまでも小沢・鳩山疑惑を小さくするために事業仕分けを必要以上にお祭り騒ぎで放送してます。

許し難い「日本の敵」です。



Commented by [花うさぎさん](#)

2009/11/27 07:56

To 桜子 (sakurako) ★さん おはようございます。

>何かとつながりがあるものなのですね。(o^▽^o)

へえ～、そういうこともあるんですね(^ ^)。



Commented by [花うさぎさん](#)

2009/11/27 08:07

To 泥沼没彦さん おはようございます。

>しかし、今の日本人は、戦後の左翼的な思潮よりもひどい何事にも無関心、いわばニヒリズムに陥ってます。これこそが昨今の国家危うくしている原因ではないのかと私は思い

ます。

2009/11/27 08:10

はい、日本人は麻酔を打たれた状態で痛みが分からない、従って声も上げられない状態に近いです。殴られたら殴り返すという当たり前のことも「悪いこと」というように洗脳されてますね。



Commented by **tropicasso** さん

花うさぎさん、おはようございます。

2009/11/27 08:10

A記者のブログと花うさぎさんのブログを夢中になっていて混同し、宛名を間違いました。(^^;

A記者には失礼をお詫び致しました。以後、気を付けますが、これは花うさぎさんへの書き込みです。

>鳩山は最早、宇宙人となぞられようが、お坊ちやまと言われ様が、こ奴は殆ど非常識人です。

>

>東京大学を卒業して、曲りなりにも科学者の一端を担ったのなら、台湾人(金美齡女史とは比較にならない馬鹿女)の連坊の戯言を「事業仕訳で聖域なし」とは言えない筈ですが、やはり、こ奴は馬鹿者ですね。

>

>鳩山薫子(母親)は威一郎の女房として立派なところがあると思っておりましたが、この母親にしてこの馬鹿者ありです。庶民感覚なんぞはどうでもよいですが、億円を超える寄付金をして政治資金法、贈与税等に無頓着とは許し難いですね。

>

>事業仕訳の節約額総額は1兆円に満たない、一方、アフガン支援その他はすでに1兆円を超えています。これどういうことですか？どこに整合性があるのですか？

>

>防人たる自衛隊増員を認めず、公務員改革(大幅首切り)を棚に上げる無茶苦茶はないでしょう！

>

>

>総理が馬鹿者ではなく、馬鹿者を総理として選んだ国民が馬鹿者でしょう！

>

>2009年10大ニュースの大晦日の大トリで、逮捕劇を見たいですね！

>中国の犬HKは紅白のテロップで流すだけで、馬鹿歌番組を完結するのでしょうか！

>

>三島由紀夫のいう「自由も民主主義も重要ではない。日本の歴史と伝統こそが大切である」というのは蓋し名言ですが、三島とは誰？と言う時代性ですからね～。

>

>やはり、国民の半数(民主党支持した)が馬鹿としか言いようがないでしょう。

>

PS)「六幸商会」というのが鳩山家の資金運用団体の様ですが、この「六」という数字は、ダビデの星(六つ星)のことでしょう。やはり、鳩山家はフリーメイソンという巷の噂は当たりですね。



Commented by **花うさぎ** さん

To siseinotamikusaさん おはようございます。

>ソトバンクのCMはオカシイでしょう。なぜ黒○と犬と日本人の家族がどこの世界にいるのでしょうか？日本人がこんなCMに怒りを持たない事に俺は悲しいのです。

義家議員がよく指摘する事ですね。あの意味が理解できずにヘラヘラ笑っている日本人、ここまでレベルが低下したのか？と思います。

>俺も三島由紀夫の切腹には驚きましたが、彼が今生きていたらどんなに悲しむでしょうか。ある意味こんな現状を見ないだけ幸福かもしれません。

本当です。英霊に申し開きが出来ない情けない状態だと思います。



Commented by [花うさぎさん](#)

To [tropicassoさん](#) おはようございます。

2009/11/27 08:15

2009/11/27 14:34

>>総理が馬鹿者ではなく、馬鹿者を総理として選んだ国民が馬鹿者でしょう！

はい。「我々はバカだった」というところから出直さないと、とんでもないことになります。

>三島とは誰？と言う時代性ですからね～。

はあ～そうですか？。これは酷いなあ。

>ダビデの星(六つ星)のことでしょう。やはり、鳩山家はフリーメイソンという巷の噂は当たりですね。

なるほど。「ねえ、知ってたあ」さんの過去ログを見直してみます(^ ^)。



Commented by [しばりようさん](#)

To [花うさぎさん](#)

2009/11/27 16:08

>

>「正直、国というものが良く判らない」などと発言する人間が日本国内閣総理大臣であって良いはずがありません。

まったく 酷い内閣です。

私の周りでも、酷評が増えています。

民主応援した、連中には、皮肉もいってやりますが、マスコミ報道に毒されていて 可愛そうでもあります。



Commented by [花うさぎさん](#)

To [しばりようさん](#)

>民主応援した、連中には、皮肉もいってやりますが、マスコミ報道に毒されていて 可愛そうでもあります。

「愚民化政策」という言葉がありますね。すぐ思いつのが戦後GHQがWGIPとともに展開した「セックス、スポーツ、スクリーン」の3S政策です。政治から国民の目をそらすために徹底的にキャンペーンしたのですが、ここにきて極まった観があります。

SMAP草薙剛ワイセツ逮捕事件、[酒井法子](#)覚醒剤使用事件とか、それこそ日本がひっくり返るような大騒ぎで、[視聴率](#)も取れるらしいのです。馬鹿馬鹿しくてほとんど見ませんでした。

なんだか日本国民もいやな感じになってきたと思います。「川に落ちた犬を棒で叩く」のは朝鮮民族の習性かと思っていたのですが(^ ^;)。



Commented by [しばりようさん](#)

[鳩山由紀夫](#)

「『日本列島は日本人の所有物と思うな』などという発想は、日本人の意識を開くことであり、死を覚悟せねば成就是不可能であろう。私はそこまで日本を開かない限り、日本自体の延命はないと信じる」

[三島由紀夫](#)

命より大切なもの、自由でも民主主義でもない。愛する歴史と伝統の国、日本だ。

正反対の言葉ですね。鳩山に死をもって 成し遂げる決意なぞなく、死を持って、訴えた三島氏 森田氏の行動原理の前には、空しい言葉です。

森田必勝氏は、生長の家の信者でした。

今こそ 森田氏の思いも考えて見たいと思います。

2009/11/27 23:47